

平成23年度 自己評価書

学校名	和歌山市立四箇郷北小学校
校長氏名	貴志年秀
作成日	平成24年2月1日

1 教育目標

心身ともに健康で、豊かな知性と人間性を備えたたくましい子どもを育てる

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	①学校ホームページの内容の充実とこまめな更新 ②学校だより・学年だより・保健だより等の発行とその内容の精選 ③地域力の活用と情報の収集の工夫	①元気な声であいさつのできる子 ②きれいで整った学校施設づくり ③学校や教室での「確かな居場所」づくり	①本校の研究主題の追究と深化 ②「たのしい授業」「わかる授業」の実践をとおして、すべての子どもに基礎学力の定着を ③ことばの力の育成

取組の状況【D】	①ホームページの見やすさの工夫・最新の情報を提供・保護者や地域の方々からの情報収集ができるような手立て。 ②学校開放月間中の授業・行事等を工夫し、より多くの方々に来校いただけるようにする。 ③各自治会・民生委員・社会福祉協議会・人権委員等、地域の各種団体の皆さんとの連携を考える。	①「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」が素直に言える子・挨拶運動の継承。 ②清掃活動・掲示物の工夫・栽培活動などの充実により、きれいで整った学校づくりの実現。 ③互いのよさを認めあえる学級づくり・感動体験の重視・いじめや不登校の早期発見と早期対応。	①算数科の学習をとおして、「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」を感じる授業づくりに取り組む。 ②課題提示やノート指導の工夫・多様な授業形態・「算数掲示板」や「チャレンジタイム」の活用、また、個別指導や特別支援活動の実施。 ③「読書タイム」や「うちどく」の実施、教科や学級活動での書く機会の設定、コミュニケーション活動の重視。
取組の成果と課題【C】	①ホームページは見やすさと速報性を重視し、こまめな更新を心がけた結果、日本小学校ホームページ大賞(県優秀校)をいただいた。 ②11月の学校開放月間は様々な催しを計画したが、来校者は思ったほど伸びなかった。 ③地域学習として地域の方々や個人のお店などにお世話になったが、ゲストティーチャーとして教室に招く機会がなかった。	①集会等で挨拶の大切さを訴えたり、地域の方々に協力いただいて挨拶・一声運動を行ったりしたが、まだまだ、元気な挨拶の声が聞こえてこない。 ②校内の樹木の剪定、花壇の手入れなどに力を注いだ。各教室の掲示の工夫等、教職員がそれぞれ意識をもってきれいで整った学校づくりに努めている。 ③学級活動等で友達の良いところ見つけなどの取組をとおして自尊感情の育成に努めている。	①校内研究授業をとおして、研究主題に迫る実践ができつつある。すべての子どもが「学ぶ楽しさ」や「分かる喜び」を感じる授業づくりに向かいさらに研究を深めたい。 ②様々な工夫を行ったが、全体的には国語・算数を中心に基礎的な学力の不足している子どもが多い。 ③「うちどく」の取組は低学年を中心に広がりを見せている。学級でも読書指導に力を入れている。「書く」力育成も今後の課題。
次年度に向けての改善方法【A】	①ホームページは引き続き見やすさと速報性を重視しながら、内容の吟味も必要。 ②「学校だより」を地域にも配布したい。 ③地域力の活用を推進し、ゲストティーチャーだけでなく、様々な面での支援をお願いする。 ④地域諸団体との交流や地域の方々の来校の機会を増やす工夫が必要。	①挨拶運動は児童会とタイアップし、実施日数の増加や参加者の拡張化を図る。 ②児童と教職員が協働して校内美化や環境整備に努め、大きな修繕等は積極的に市に依頼していく。 ③教職員の共通理解を深め、児童への声かけや指導に全職員が携われる体制づくりをし、問題事案の早期発見、早期解決に努める。	①「学ぶ楽しさ」や「分かる喜び」を感じる授業づくりに向けて、さらに研究を拡大・深化させたい。 ②全ての子どもの学力保障の観点から、特別支援や個別指導のあり方を工夫する。 ③家庭との連携を深め、家庭学習の時間や家庭での読書時間の確保に努める。 ④継続して「ことばの力」の育成に努める。

3 その他の課題

--